

## 令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組

## &lt; 菊池市立菊池南中学校 &gt;

## 1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>環境委員会を中心に、本年度のISO宣言を話し合い、全校生徒に周知するためにポスターの掲示を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 節電、節水に取り組みます</li> <li>2. アルミ缶、ペットボトルキャップ回収に取り組みます</li> <li>3. 花あふれる南中を作ります（栽培委員会との連携）</li> <li>4. 菊池市の環境保全に努めます（地域活動）</li> </ol> <p>※特に今年度はSDGsを意識した活動を行っていった。</p>
行動		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 節電、節水に取り組みます 節電については「移動教室では電気を消す」、節水については「掃除はバケツ一杯」「歯磨きはコップ一杯」を目標に、ポスター掲示や学習発表会でのプレゼンを使った視覚的な訴えをして協力を呼びかけていった。また、環境委員会掲示コーナーで月別の電気料金・水道料金をグラフにして掲示し、金額にして訴えることで生徒の意識を高めた。</li> <li>2. アルミ缶、ペットボトルキャップ回収に取り組みます アルミ缶、ペットボトルキャップは、まず環境委員会で回収の意義についての学習会を行い、その後各教室での呼びかけを行った。その際に注意したのは以下の2点である。 ①家にある資源を無駄にしないための回収であること ②回収したものが何になるのかを具体的に示し（アルミ缶は売却収益でソーラーライトの購入、ペットボトルキャップはポリオワクチン何人分になるのか）、そのために必要な回収量を決めて、各学級で呼びかけをする 各学級ではその呼びかけと同時に、①②の内容を記載したポスターを掲示しておき、月別の学級での回収量を目標とともにグラフ化して掲示した。</li> <li>3. 花あふれる南中を作ります（栽培委員会との連携） 栽培委員会を中心に花苗を育て、校門や中庭に花を植えた。季節を問わず校内では花が咲き乱れていた。また、地域貢献活動の一環として、育てたサクラソウの一部を地域の高齢者宅に訪問して手渡しをするなどの活動を行った。</li> <li>4. 菊池市の環境保全に努めます（地域貢献活動） 3年生の総合的な学習のコースで菊池市内の清掃活動や、年末の高齢者宅の大掃除のお手伝い（草取りや窓ふき等）を行った。2年生の総合的な学習のコースでは菊池川の水生生物による水質調査を行い、現状から私たちにできることを考えて学習成果発表会で訴えていった。</li> </ol> <p>○ 紙を大切に使います 職員室、印刷室、各学級で裏紙回収ボックスを設置し、再利用できる紙を分別し、さらに環境委員会の活動で利用できる紙の精選を行ったあとに職員連絡用の裏紙として利用した。また、職員会議ではなるべく紙を使用しないで済むように可能な限り電子媒体を共有フォルダに保存して、閲覧しながら職員会議を行うように改善していった。</p>

記録	  	<p><u>1. 節電、節水に取り組めます</u></p> <p>3ヵ年分の水道料金</p>  <p>3ヵ年分の電気料金</p>  <p>休校期間の4月～6月までは例年よりも料金は低い。本年度は手洗いやエアコンを使用しながらの換気等で、7月以降は例年よりも料金が上がっている。</p> <p><u>2. アルミ缶、ペットボトルキャップ回収に取り組めます</u></p> <p>アルミ缶の回収量：10200個 ペットボトルキャップの回収量：185,64kg 目標値を大きく上回ることができた。</p> <p><u>4. 菊池市の環境保全に努めます（地域貢献活動）</u></p> <p>高齢者宅の清掃活動後に、コースの生徒で年賀状を書いて送った。高齢者の方からも返事の年賀状をいただき、交流のきっかけにもなった。</p> <p><u>○ 紙を大切に使います</u></p> <p>裏紙を職員会議等で活用することで、無駄な紙ごみを減らしていくことができた。特にA4の裏紙は足りなくなるくらいに活用が進み、職員の意識向上を図ることができた。</p>
	見直し	<p>○感染症対策により、水道代や電気代については単純な例年との比較はできなかった。</p> <p>○「環境美化」などの項目については、学校外での活動を取り入れることでより充実した取り組みになっているが、校内での環境美化活動が不足しているので、ISO宣言の内容を来年度も見直しを行い、宣言項目の中にさらに具体的な行動目標の設定をすることで改善していきたい。</p>

## 2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○資源物の回収については具体的な目標を示し、工夫して呼びかけることで昨年度よりも大幅に回収量を増やすことができた。</p> <p>○校外に目を向けた活動を取り入れたことで、取り組む生徒の意欲も向上した。</p>	<p>△資源物の回収では学級・学年による意識の差が大きく、呼びかけの熱量で差がついていた。どの学級でも同じように取り組める工夫が必要である。</p> <p>△校内の環境美化に力を入れる。</p>